



担い手サポート通信

JA福井県五連組合員トータルサポートセンター農業支援課

(福井市大手3丁目2番18号 TEL:0776-27-8215 E-mail:noushien@chu.ja-fukui.or.jp)

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

第8回担い手対応レベルアップ講習会 (3STAC) ～経営改善に向けた提案活動を報告し有終の美を飾る～

組合員トータルサポートセンターでは、年間を通じて実施してきた『担い手対応レベルアップ講習会 (3STAC)』の最終にあたる第8回を1月26日、農業会館にて開催しました。参加者の12名は、これまで学んできた農業簿記や税務などの知識や対人折衝能力などのスキルアップを生かし、担い手農家への経営分析提案書を作成。訪問活動を通じて実践的に提案を図ってきました。



この日は、参加者全員が担い手農家へのそれら取り組みを報告しました。報告においては対象先の現状を認識した上、技術指標、財務指標など各項目別に分析した課題に対する提案内容をパワーポイントを使ってとりまとめ、プレゼン形式にて説明がなされました。例としては、土地の生産性が低い担い手へは新たな作付体系を提案しZ-BFMを使った所得のシミュレーションをし

たり、設備投資額が大きい担い手に対しては財務指標や資金繰りに応じた現状を分析し、今後の計画的な設備投資やそれらに伴う借入の相談に応じるなど、各々が講習会での学習を生かしつつ創意工夫に応じたきめ細やかな取り組みとなっていました。

参加者の一人は「経営分析をきっかけに関係を密にし、JA利用率が低いところに入り込むきっかけにできればよい。また、信用事業などとの連携を図っていきたい」と感想を述べていました。

また、報告終了後、全員に修了書が手渡され、講習会の全日程が終了。有終の美を飾りました。参加者の皆さん、1年間お疲れさまでした。

◇経営分析提案の取り組み一覧◇

JA名	経営分析実施先	課題・提案内容等
福井市	農事組合法人	労務管理、経営の安定化、作付体系
福井市南部	認定農業者	経営規模の増加、飼料用米の作付
永平寺	農事組合法人	低生産性、施設園芸、借入
	認定農業者	資金繰り、借入、口座管理
花咲ふくい	農事組合法人	リース資産、高齢化、作業受託
	農事組合法人	水稻反収、麦跡作、後継者
テラル越前	農事組合法人	土地生産性、農業所得、損益、原価率、作付体系
たんなん	認定農業者	支払税金、過剰投資、収支シミュレーション、作付体系
敦賀美方	農事組合法人	作業効率、麦跡作、後継者
若狭	合同会社	過剰投資、資金繰り、作付体系



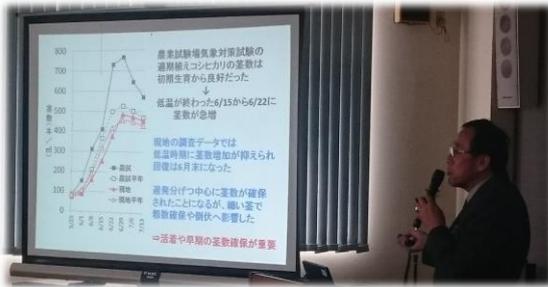
第3回担い手サポート研修会 開催

組合員トータルサポートセンターは2月5日、担い手担当者を対象に、担い手からの多様なニーズに対応していくことを目的に『第3回担い手サポート研修会』を経済連総合センターにて開催しました。県内のTACや営農指導員など約30名が参加。

開催にあたり、当サポートセンターの田嶋部長からは、「生産現場では高齢化が進み、世代交代が進んでいない状況にある。地域の発展のためには今後取り組んでいかなければならない課題である。今回の研修を通じてレベルアップしていただき、JAと農家をつなぐ役割をお願いしたい」と挨拶。



前半は福井県農業試験場の徳堂部長より「平成29年の稲作の反省と本県稲作の方向性」と題し講義を受けました。本年作は6月の低温により初期生育に遅れがでたものの、7月に入り生育は回復。一方、遅い分けつが多発し、茎が細くなったことから倒伏が増加したことなどが報告されました。また、コスト削減に向けた新型除草機の使用法や育苗箱施薬によるカメムシ防除、紋枯病の多発田のみでの省力的防除などの取り組みも紹介されました。



後半は「事業承継（農業における家族経営の引継）の取り組み」について、本課より全国的な取り組みを報告したのち、事例発表として石川県の有限会社たけもと農場代表取締役である竹本彰吾氏より「身は一代 名は末代～イネを育て、イネに育てられ～」と題し、ご講演頂きました。

◇ (有) たけもと農場 代表取締役 竹本彰吾氏の講演内容 要旨 ◇



高校部活引退後、父親からのプレゼンを機に就農を決意。「跡を継ぐということは、農作業を引き継ぐだけではなく、周りの方（土地を任せてくれている人や竹本農場のお米を買ってくれる人、資材提供してくれる農協やお金を貸してくれる銀行など）からの期待を背負うことになる」と父親から熱弁を受けた。

本格的な事業承継は、経営継承を研究している中央農研の先生方との出会いがきっかけ。20歳の時に10年計画の承継プランを作成。初中後期の3段階に分け、さらに1年毎の年間計画と反省会も実施。反省会には毎年中央農研の方が来てくれるため、1対1のやりとりに風が通り、建設的な話し合いが可能に。こういった節目・節目ではPDCAサイクルを再確認することが大切である。

10年計画中期では、今迄と同じことをしていてもダメだと考え色々なことにチャレンジ（例：イタリア産米の生産、キセキとの可変施肥田植機開発、トヨタとの連携事業）。その中でも小集団活動が会社の雰囲気を変える良いきっかけとなった。毎週1回1時間程度、竹本氏を除く3～5人の小グループで意見交換を実施。これにより社員の発言も増えてより活発的な議論に発展。時には普及員の方にも参加してもらい社員の人材育成へとつなげている。

10年計画を終えた今の課題は、承継後の父親との関係。親から子へのバトンタッチがうまくいった後、先代がどのように引退するか、その先の生活をどう支えていくかが鍵になる。

事例発表に関して、参加者からは「経営者による実際の事業承継の話しがきけて良かった」「事業承継についてはもっと広報すべき」「たけもと農場はかなり先進的で自分が担当している担い手にはいないタイプだった」などのご意見を頂きました。

農業者サポート大会 ～農業所得の増大に向けて～



組合員トータルサポートセンターは3月2日、『福井県JAグループ農業者サポート大会～農業所得の増大に向けて～』を経済連総合センターにて開催しました。県内JAの担当役職員やTACなど約100名が参加。開会にあたり、中央会の永井専務からは「県内でTACが発足してから10年が経過し、ようやくTACという言葉が担い手から認識されるようになった。今後も担い手農家に寄り添い所得増大、生産拡大、課題解決につなげてほしい」と挨拶されました。

平成29年度TAC表彰

29年度の（TAC自らが立てた）取り組み目標に対して、優れた取り組みや実績を残したTACに対する表彰を行いました。最優秀賞に輝いた鈴木智裕氏からは「農業情勢が厳しい中ではあるが、これからもTAC活動を頑張っていきたい」と受賞者を代表し抱負が述べられました。



左から鈴木氏、北村氏、廣畑氏

全国・県内情勢

29年度の全国の「県域担い手サポートセンター」の担い手訪問活動は、訪問先が固まってきたこともあり、前年度に比べ訪問件数・訪問回数ともに増加基調。本県においてもTACの訪問回数は19,982回と過去最高になりました（県内TAC合計68名）。また、訪問回数に比例し、担い手のJA事業利用は高くなる傾向となっており、月2回以上の訪問回数がある担い手については、肥料・農薬・生産資材の各購入実績が前々年度と比較し大きく伸びていました。

県内TAC事例報告・3STAC講習会実践報告



TAC表彰最優秀賞を受賞した鈴木氏より「園芸産地の活性化に向けて」と題し、事例報告が行われました。具体的な取り組みとして、新規就農者と空ハウス保有者との仲介を行うなど、新規就農者が安心して就農できる体制づくりや園芸ハウスの有効利用に関する支援について紹介されました。

また、3STAC受講者を代表し、JAテラル越前の古川正人氏と尾崎大輔氏より経営改善指導の実践報告が行われました。以前から農業経営の相談を受けていた農事組合法人を対象に経営分析を実施。経営者との話し合いを通じ、現状を把握。水田園芸への転換や経費削減などの提案活動が紹介されました。結びに今後ともTAC活動に経営改善提案も取り入れ担い手に寄り添っていききたいとのことでした。



＜提案活動の流れ＞



基調講演

ホテル日航金沢にてチーフコンシェルジュとしてご活躍の小島久枝氏より「ホスピタリティ〜心からのおもてなし〜」と題し、ご講演を頂きました。お客様と接するうえで大事なこと、いつも意識していることなど、担い手への訪問活動に関するアドバイスを受けました。

◇ ホテル日航金沢 宿泊部 チーフコンシェルジュ

小島久枝氏 からのアドバイスポイント ◇

- ★ サービスの個別化（一人ひとりにあったサービス）が求められる中、今度は逆の差別化（あの人にとって私にはない）が現れてくる。それを防ぐには一人ひとりをちゃんと見ている、あるいは関心を持っていることを相手に態度で示すことが重要。
- ★ 「No（ノー）」と言わないサービス（お客様のご要望に添えない場合、まずは相手の気持ちに寄り添い{同情、共鳴}、理由を説明したのち代替案を提示する）。
- ★ 「Yes（はい、かしこまりました）」の発想（できる限りのことをしてあげる）。
- ★ 人と出会うことによって、反面教師ならぬ正面教師を見つけ学ぶ。
- ★ 少しでも快適にすごしてもらえよう配慮する（自宅に招くような対応、相手に関心をもつ、相手に恥をかかせない）。
- ★ 多くの情報があふれる今、必要な時に必要な情報を引き出せるようにしておく。
- ★ 友情の輪を通じたサービス（皆の力を借りれば何とかできるのではないか）。
- ★ 人の心に届くのは（ロボットなどではなく）人である。



平成 30 年度活動提案・TAC 取組目標発表

本課より、経営改善指導等の人材育成を目的に「3S TAC 講習会」「担い手サポート担当者研修会」を引き続き開催していくこと、また、農業所得向上に向けた水田園芸作物の導入促進や担い手への訪問活動強化及び活動の見える化などの活動について提案がなされました。



締めくくりとして、JA 永平寺の南部高宏氏より 30 年度の個人目標が発表されました。「担い手を中心に永平寺の特産物の一つであるタマネギの作付面積拡大」を目標に掲げ、面積拡大による産地化を図り、生産意欲の向上や所得安定、さらには後継者の確保や事業承継を目指していくことなどの意気込みが述べられました。

後編 記 集

「担い手サポート通信」を発刊し、早 1 年が過ぎようとしています。この 1 年、TAC の皆様には本当にお世話になり、ありがとうございました。30 年度は新たな米政策のスタート年度です。引き続き担い手の所得向上を目指し、共にがんばっていきましょう。（TK）



福井の

農家のみなさんを 応援します!

保証料負担



円

※条件変更等により保証料の追加が発生した場合、追加分についてはお借入者の負担となります。

お借入期間 平成30年 1/4(木) ~ 12/28(金)

地域農業応援資金

ご融資方法 証書貸付 ご融資期間 25年以内

ご融資金額 事業費の100%の範囲内かつ
5,000万円以内

ご利用いただける方 ●組合員 ●組合員の組織する団体、法人

お使いみち
(1) 設備資金
(ア) 農地取得・改良・造成
(イ) 農機具の購入(購入に付帯する諸経費を含みます)
(ウ) 農業用施設等の建設
(エ) 発電・蓄電設備機器の購入
(2) 運転資金

当初 3年間 固定金利 年 **0.2%** (お借入金額 100万円以上の場合)

※お借入金額100万円未満の場合および4年目以降の金利 (JAバンク利子補給後金利) については、JA所定の金利となります。

農業近代化資金

ご融資方法 証書貸付 ご融資期間 15年以内

ご融資金額 個人:1,800万円以内
法人:集落営農組織等:2億円以内
農業参入法人:1億5千万円以内

ご利用いただける方 ●組合員 ●組合員の組織する団体、法人
※別途、所定の条件がございます。

お使いみち
(1) 設備資金
(ア) 農機具・農舎等の取得・改良・復旧
(イ) 果樹等の植栽・育成
(ウ) 1,800万円以内の小規模な農地改良等
(2) 運転資金

当初 5年間 固定金利 年 **0%** (お借入金額 100万円以上の場合)

※お借入金額100万円未満の場合および6年目以降の金利 (JAバンク利子補給後金利) については、JA所定の金利となります。

担 保 お よ び 保 証 福井県農業信用基金協会の保証をご利用いただけます。また、必要に応じて、担保・保証人をいただく場合がございます。

保 証 料 支 払 方 法 一括前払いのみ

お申込み時にご利用いただくもの ●事業費を確認できる書類(事業計画書、見積書、設計書など) ●その他JAが必要とする書類

※繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料が必要となります。 ※ご返済の試算については、店頭へお申し付けください。 ※詳しくは、店頭へお申し付けください。

ちょリスのチョイス!

©ちょリス

JAバンク

福井県JAバンク

検索

“土の健康診断” であなたの施肥・栽培が変わります！

土壌診断 のススメ

土壌診断とは、ズバリ「土の健康診断」のことです。人間と同様、作物も栄養が多すぎても、少なすぎても健康には育ちません。



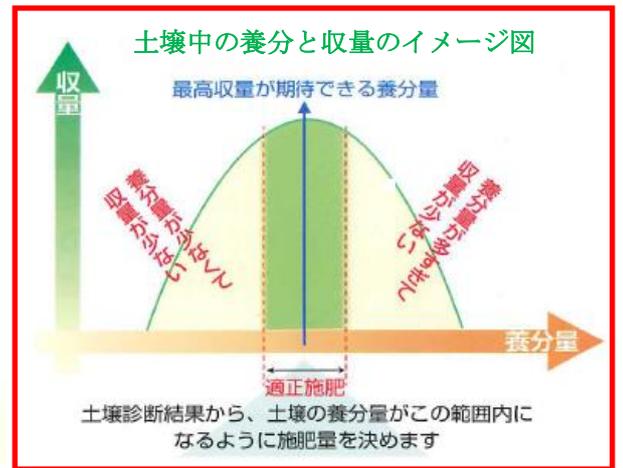
土壌診断をすれば、こんなにお得!!

- 土の健康状態がわかります。
- 何が余分で何が足りないのか…肥料の適正な投入量がわかるので、施肥コストを減らせます。
- 診断結果に基づく土づくりや施肥で、作物の安定生産、品質の安定が図れます。

●診断結果が収量と品質安定の手がかりになります

一般的に、土壌中の養分が増えれば、作物の収量も増えますが、ある量を超えると頭打ちになったり、減っていきます。

土壌診断をすれば、土壌中の養分量がわかり、期待する収量を得るのに必要な養分量を知ることができます。

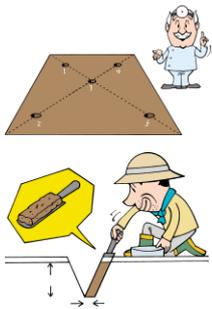


まずは圃場で土のサンプルを採りましょう

土壌サンプルの採り方

①土を採る

中央と対角線で 5 か所、表土を 1 cm 程度取り除き、深さ 10~20 cm の作土を移植ゴテで取ります。1 か所当たりの量は生土で約 500g です。



②乾燥

採取した土は新聞紙などの上でよく混ぜてから薄く広げ、風通しのよい所で約 1 週間乾燥させます。



③提出

袋に土のサンプルを入れ、必要事項を書き込んで J A 担当者へお渡しください。



※平成 30 年産いちほまれ生産者として登録されるには、「土壌分析に基づく土づくり資材の施用」が必用です。

あなたの血管は大丈夫？！

動脈硬化

◎動脈硬化とは

血管が硬くなりしなやかさが失われた状態。血管の壁の内側にコレステロールなどがたまり「プラーク」というこぶができ、血管を狭くします。また血栓などの血液の塊が血管を塞ぐことがあります。動脈硬化は自覚症状がほとんどなく進行する「サイレントキラー」です。



血管が狭くなったり詰まったりすることで、心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症などを引き起こします。

血管が破れると、クモ膜下出血など脳出血の危険もあります。

◎動脈硬化の危険因子

脂質代謝異常 …コレステロールは血管内壁にたまり、動脈硬化の大きな要因になります。

高血圧 …血管を傷つけたり、血管壁に出来たプラークを破れやすくします。

高血糖 …高血糖状態は、血液中の脂質や血管内壁の付着物を増やします。

喫煙 …血管を収縮させ、高血圧の原因になります。

また、コレステロールの酸化をすすめ、動脈硬化を進行させます。受動喫煙も要注意。

加齢 …動脈硬化は加齢とともに進行します。

肥満 …内臓脂肪が増えると、脂質異常・高血圧・高血糖などを引き起こし、急速に動脈硬化を進行させます。

予防のためには…

動脈硬化症は**自覚症状がなく、気づきにくい**ところがとても恐ろしいところです。

定期的に健診・検査を受け、食事や運動など生活習慣を見直しましょう。

- 健康診断

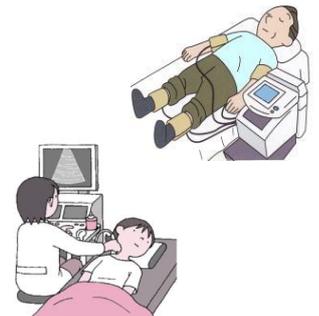
動脈硬化の危険因子の発見ができます。

- 動脈硬化検査 (ABI・PWV)

両腕・両足の血圧、脈波を測定することで血管の硬さや詰まりがわかります。

- 頸動脈のエコー検査

血管の厚みやプラークの有無がわかります。



個人農家

農業法人

集落営農組織

JA共済

農作業中傷害共済／ 特定農機具傷害共済

必ずお読みください

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。



農作業中のケガへの保障も充実

JA共済では、農作業中の事故によりケガまたは死亡された場合の保障として、「農作業中傷害共済」と「特定農機具傷害共済」をご用意しています。

農作業中傷害共済

記名被共済者またはその家族や雇用されている方が、農作業中の事故によりケガをされたり、死亡されたりした場合に共済金をお支払いします。



- 1 保障の対象になる方（被共済者）の年齢は99歳までとなっていますので、ご高齢の方も安心して農作業を行えます。
- 2 ケガで入院・通院された場合、ケガの部位・症状に応じて共済金の額が決まりますので、スピーディーに共済金をお支払いできます。また、治療または施術を受けている期間中であっても共済金をお受取りになれますので、当座の費用にあてることができます。
- 3 農作業に従事する方の範囲に応じて、本人のみ保障タイプ、家族保障タイプのいずれか最適なタイプをお選びいただけます。

特定農機具傷害共済

ご契約時に指定された農機具によって生じた事故により、その農機具を使用した方がケガをされたり、死亡されたりした場合に共済金をお支払いします。



- 1 保障の対象になる方（被共済者）の年齢に制限はありません。
- 2 保障の対象になる方（被共済者）はその農機具の使用によりケガをされた方などとなりますので、ご契約時に指定する必要はありません。



ご契約できる
農機具(例)

- 乗用トラクター
- 自脱型コンバイン
- 田植機
- 自走式スピードスプレイヤー
- 歩行用トラクター
- 乾燥機
- 草刈機
- 脱穀機
- 精穀(米)機 など

お問い合わせは… 最寄りのJAへ